

学習者の活動	指導者の活動等
<p>6 私たちはどう変わればいいのかを考える。</p> <p>(1) 会話の分析から、「では、どうすればいいのか」を考え交流する。</p> <p>(2) 記録係は記録する。</p> <p>(3) 全体交流に向け発表者を選ぶ。</p>	<p>○交流について、次のことを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 会話から読みとれる価値基準について</li> <li>▷ 言われた子どもの気持ちについて</li> <li>▷ 自分の生き方を見つめること</li> </ul> <p>○発表について、次のことを指示する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 記録係以外の人から発表者を選ぶこと</li> <li>▷ グループとして意見をまとめることはせず、交流の経過を中心に発表すること</li> <li>▷ 発表の時間は1分</li> </ul>
<p>7 全体で交流する。</p> <p>○各グループの代表者が発表する。</p>	<p>○交流について、次のことを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 各グループの発表をしっかりと聞くこと</li> <li>▷ 特に、発表者は自分の発表のことは考えずに聞くことに専念すること</li> <li>▷ 多様な考え方にふれること（違う意見を聞くことで、新たな気付きもある。）</li> </ul>
<p>8 まとめ</p> <p>○気付いたことやわかったこと、これから取り組んでみたいことなどを発表する。</p>	<p>*発表は強要せず自発的な発言を促す。</p> <p>*疑問点などが出されたときは、参加者に返して全体で考えられるようにする。</p> <p>○学習の雰囲気や参加者の変容などを評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>▷ 私の悩みから私たちの悩みとして課題を共有し、その解決に向けてこれからも相談できる関係になったか。</li> </ul> <p>○指導者の子どもとのかかわり等の話をしてまとめとする。</p>
<p><b>人権教育資料「わたし・あなた・みんなの人権」</b> <b>P.19 子は親の鏡</b></p>	
<p>○資料を読む。(聞く。)</p>	<p>○人権教育資料(コピー)を配布し、「子は親の鏡」を紹介する。</p>



### 全体的な留意点

- なごやかでオープンな雰囲気の中で進める。
- 参加者数の想定規模は30~40名。

### 準備物

- A5用紙、A4用紙、模造紙、付箋、マジック等(各グループ毎)
- 人権教育資料のコピー(P.18及びP.19)

### 評価

- 子どもとの関係について気付きがあったか。
- 学習者同士の共有(つながり)はあったか。